

2024年度第1回学校関係者評価委員会 議事録

1) 日 時：2024年7月16日（火） 14時00分～15時00分

2) 場 所：応接室

3) 出席者：外部委員

| | | |
|-----|--------|--|
| 委員長 | 澤村 有利生 | 社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事 |
| 委 員 | 阿部 誉久 | 山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長 |
| 委 員 | 藏増 聡 | 学校法人山口県桜ヶ丘学園 山口県桜ヶ丘高等学校晃英館 コース晃英館中学校 校長 |

本校教職員

| | |
|-------------|-------|
| 校 長 | 中川 達也 |
| 副校長 | 河津 道正 |
| 教務課長 | 田中 秀樹 |
| 事務長 | 日當 泰浩 |
| 公務員総合学科学科長 | 青木 敏春 |
| 公務員学科学科長 | 橋口 浩太 |
| 公務員総合学科1年担任 | 田村 天人 |

4) 次 第：

(1) 校長あいさつ

(2) 学校関係者評価委員紹介

(3) 教職員紹介

(4) 配布資料等確認

①2023年度自己点検・評価表

②学校パンフレット

③学生便覧

④事業報告書

(5) 議題：2023年度 自己点検・評価実施結果について報告

1 「教育理念・目標」

① 課題

国家公務員・地方公務員の職員として求められている人材の把握はある程度できているが、各官公庁が求めている人材を細かく把握出来ていない部分がある。

② 今後の改善方策

公務員ガイダンスの際に人事の職員の方と話す機会があるので、そのときに求められている職

員像などの話を聞いたり、卒業生が現在所属している部署の話を聞いたりして細かい部分の把握をする。

2 「学校運営」

① 課題

情報システム化は進められているが、十分に活用しているとはまだ言えない。

② 改善策

S-wing について各職員が十分な知識を習得し、誰でも同様の操作ができるようにしていく。

MyiD の導入により、学生や保護者への連絡を効率よくする。

③ 特記事項

2024 年 4 月より MyiD を導入。

④ ご意見

<澤村委員長>

人事評価はどのように実施しているのか。

<日當事務長>

年に 3 回面談を実施+コンピテンシーで評価している。配置転換の要望も聞いている。

対象は 180 名程度（正規非正規含める）

<澤村委員長>

規模が大きくなるとツールを導入しないと評価が難しい。

規模が小さい場合、ツールはなく評価する人の負担が大きくなるので大変。

3 「教育活動」

① 課題

教育方法・評価等に関して、非常勤の先生が担当している授業のコマシラバスが完成していない。

② 改善策

非常勤の先生との授業に関する話し合いを行い、今年度中に完成させる。

③ ご意見

<田中教務課長>

適切な評価について、現在担当として各学校の授業を見学している→次年度から点数化して評価できるようにしたい。

<蔵増委員>

授業の評価→先生視点と学生視点で見る立場で評価は変わる。難しい。

文科省は振り返りを重視している。授業の進度にずれが生じる。

評価も大事だが、子供たちが授業を振り返ることで学力が定着することが大事。

いい授業・悪い授業の評価ではなく、この授業でどんな学びがあったのか・次にどう成長につながるのかが大切なので、この部分を評価したほうがいい

4 「学修成果・教育成果」

① 課題

卒業生に関しては異動・転勤・転職もあり、完全に把握できていない。職務上の秘密もあり、現住所の把握も困難である。

② 改善策

同窓会の開催時に卒業生への聞き取りを行い、同窓生の現状をできるだけ把握する。

③ 特記事項

社会的評価 4－4 の評価を 3 から 4 に修正。(前回の委員会での指摘)

④ ご意見

<蔵増委員>

最近個人情報が厳しい。引っ越し先や名前を把握することは大丈夫か。

<河津副校長>

個人情報保護の観点。同窓会は外部の団体で、幹事の方が実施しているので学校としてどうなのか。会則にも記載している。

<蔵増委員>

卒業生に声をかけたくても、所在が分からないので困っている。

<澤村委員長>

高校や大学の同窓会名簿を作成する連絡が来る。

記入するかどうかは本人次第なので大丈夫だと考えている。

5 「学生支援」

① 課題

卒業後 10 年間の就職に関するサポートを行うようになっているが、実際に 10 年前の学生の情報がすぐに出せない場合がある。

② 改善策

情報管理室と協力して S-wing のデータを見直し整理する。

③ ご意見

<蔵増委員>

10 年キャリアの先生がいないと卒業生のこともわからないし、卒業生も相談しにくいと思う。実際に相談の連絡は来ているか。

<青木学科長>

証明書の発行の連絡ぐらい。直近5年以内ぐらいは相談が来る。

6 「教育環境」

① 課題

教室として使用しているZEST小郡ビルの廊下の雨漏り、トイレの不足（特に女子トイレ）など施設の整備ができていない部分がある。

② 改善策

同ビルの管理会社と話し合いを行い、修繕や補修において連携していく。

③ ご意見

<田中教務課長>

画像を撮影したほうがいい。

7 「学生の受け入れ募集」

① 課題

公務員試験には、障がい者を対象とした職種がある。その職種を希望して、YIC公務員専門学校の入学を検討している高校生が存在するが、授業で使用する2号館にはエレベーターが存在しない。ZEST小郡ビルにはエレベーターは存在するが身障者用トイレがない。

② 改善策

新年度の教室割り当てをstudio3校で行う際に、各校の入学者の現状を踏まえたうえでの使用教室の検討する。

③ ご意見

<日當事務長>

奨学金の希望者には説明会を実施し、対応している。

<田中教務課長>

月に2回、土曜講座に車いす利用者がいる。

<澤村委員長>

ハード面の問題なので、どうしようもない。難しい。

<蔵増委員>

車いす利用者の入学が決まっても工事は入らない。入学前に説明をして判断してもらえない。

<田中教務課長>

入学希望者には適切な説明をしていきたい

8 「教育の内部保証システム」

① 課題

個人情報の保護に関して、まだ徹底化できていない面がある。

② 改善策

個人情報の管理について、職員間で注意できるようにする。

③ ご意見

なし

9 「財務」

10 「社会貢献・地域貢献」

① 課題

県民の方、地域の方への認知度はまだまだ浸透していない

② 改善策

Y I C の他部署との連携を進めていくことで、地域への活動を広げていく。

③ 特記事項

2023年度公務員総合学科ボランティア活動

6月：山口・海ごみゼロ維新プロジェクト

8月：しものせき未来創造 j o b フェア

9月：山口県警察サイバー防犯ボランティア

10月：やまぐち未来のしごとフェスタ、きららでキラリ！プロジェクト

通年：レノファ山口 F C 試合運営ボランティア

2024年度のボランティア活動に山口県障害者スポーツ協会ボランティアを行うことになっている。これは Y I C リハビリテーション大学校を經由し、山口県とのつながりができたことでの紹介。

④ ご意見

<青木学科長>

今年度より山口県障害者スポーツ協会と連携して、ボランティアを行うようにしている。

(6) 意見交換

<澤村委員長>

1 「教育理念・目標」の課題である必要な人材を細かく把握しているかについて新人として働く中で職場で働く先輩が生き生きしているかどうかによって将来性を持てるかどうかが決まる卒業生がどうゆう気持ちで働いているか把握するのは大切。

<阿部委員>

1－2と5－7の評価は、基準が不明確なのでどの程度できればいいのかを見直すことで3→4に変更できるようになるのではないかと思う。

<蔵増委員>

昔と違って、近年想像できないくらい簡単にやめてしまう離職が増加している。

(7) 連絡事項

本年度第2回委員会は、2月～3月頃開催予定（開催日時は調整の上決定）